

平成 28 年 5 月 23 日

報 告 書

島田市議会議長 様

島田市議会議員 紅林 貢
島田市議会議員 仲田 裕子
島田市議会議員 杉野 直樹
島田市議会議員 森 伸一
島田市議会議員 桜井 洋子
島田市議会議員 藤本 善男

議会報告会に出席しましたので、次のとおり報告します。

- 1 日時 平成 28 年 5 月 21 日（土）
午後 7 時 00 分～午後 9 時 00 分
- 2 会場 島田市役所会議棟（大会議室）
- 3 参加者数 23 人（男性 20 人、女性 3 人）
- 4 役割
 - (1) 受付 全員
 - (2) 司会 森
 - (3) 挨拶（概要）紅林
 - (4) 報告 桜井、仲田、杉野
 - (5) 答弁 全員
 - (6) 記録 藤本

5 報告事項

(1) 議会活動の報告について

紅林議長より挨拶をかね議会活動の概要説明を行い、議会改革の一環として平成27年度より常任委員会の分散開催を行っている件、および熊本地震に対して議会として見舞金を集約し贈った件の報告があり、その後各常任委員会よりの報告を行った。

① 総務消防常任委員会（報告者 桜井）

- ・電子自治体推進経費について。
- ・合併特例債の起債限度額と今後の起債見通しについて。
- ・シティプロモーションの目的と市民に対する理解促進について。
- ・市民会館解体と跡地利用方法および、市の将来ビジョンについて。

② 厚生教育常任委員会（報告者 仲田）

- ・生活保護扶助費の予算額増加について。
- ・子ども未来夢基金廃止に伴う新規事業への移管について。
- ・子育て支援メニューの名称の簡素化要望について。
- ・保育園の待機児童問題と、新保育園建設について。
- ・国民健康保険事業のジェネリック医薬品による財政健全化について。
- ・専任の認知症サポート医が島田市で1名しかいない件について。
- ・学校給食での同一事業者による異物混入に対し、委員会視察を予定している件。

③ 経済建設常任委員会（報告者 杉野）

- ・新東名島田金谷インター周辺地区での賑わい交流拠点整備について。
- ・産業支援センター立ち上げについて。
- ・お茶の郷の県への移管について。
- ・自治基本条例の制定に向けた今後のスケジュールについて。

④ 報告に対する質疑

問 六合に新設される保育園の経営形態は。

答 設置方法はこれから検討する。(説明会開催資料には市の土地を民間に貸与するとの記述があることを後日確認)

問 新東名周辺の整備は攻めの戦略でいくべきでは。

答 全体の構想も別途検討しているが、具体的なものはこれからだ。

問 おびサポ（産業支援センター）の目標はあるのか。

答 企業支援を考えているが、関係者からの情報によれば、これまでに120件程の相談を受けたと聞いている。

問 合併特例債の限度額を委員会で確認した趣旨は何か。

答 限度額 196 億円をすべて使い切るのではなく、償還できるよう進めるべきとの考えに基づく確認である。

問 シティプロモーションの目的は何か。

答 まちを売り込むことを主体としたものである。

(2) 意見及び情報の交換について（今回はテーマ設定なし。）

議長立候補制について

- ・立候補の狙い、これまでの議長職における問題、非公開とした理由は何か。
- ・議長立候補制の申し合わせは法律に抵触しないか。
- ・せっかくの改革だが遅いと感じる、開かれた議会を目指すなら、議長選を公開すべきではないか。少なくとも議長の所信は公開すべきではないか。
- ・対外的なあいさつが出来る人を選んでほしい。 <議会要望>

➡（議会側回答）

- ・正副議長の立候補制としたが、来年5月より実施との意見もあった。すでに議会運営委員会の賛同も得ているが、所信表明の公開は試行段階のため、やり方を含めて非公開とし、内容についてはしっかりと見極めたい。
- ・地方自治法に抵触する恐れがあるため議員同士の申し合わせとし、他の法律に対する抵触を避けているつもりである。

シティプロモーションについて

- ・ロゴを作って終わりなのか。戦略があって行っているのか。
- ・同様の取り組みは全国で行っている。戦略を持った他市（例えば掛川市の茶業振興）の取り組みに負けているのではないか。
- ・誰をターゲットにしているのか、また市の強みは何なのか、他市との差別化はできているか。島田の良いところを確認しておいて欲しい。 <議会要望>
- ・デザインが押しつけで、何をしたいか先が見えない。

➡（議会側回答）

- ・市民がどのように受け止めてくれるかが大切。市民も申請をすればロゴを使うことができるので、先ず市民に目的を理解してもらい盛り上げてもらう必要がある。
- ・市の進め方が茶業振興的であるようにも感じられたため、常任委員会で意義を再確認した。市は他市にまちを売り込んでいくためには市民の理解が重要であると考えている。
- ・ターゲットは他市の人に先ず知ってもらう事が一番である。

議会改革について

- ・市議会議員で予算を組み事はできるか。チェック機能を果たすため、議員を常勤化することはできないか。定数を半減して報酬を倍額とすることはどうか。

➡（議会側回答）

- ・ 予算の修正はできるが、財源内訳など慎重な検討が必要となる。賛否を示すだけでなく提案していく必要があり、今後は予算決算の審査方法を見直して突っ込んだ審議ができるよう考えている。常任委員会での審査は現状委員長以外の5人で行っており、ある程度の人数は必要と考える。

新病院建設について

- ・ 議会一般質問の軟弱地盤の道路問題は、さらに突っ込んだ質問が必要ではないか。
- ・ 市民病院の建設は現地で決定したということか。
- ・ 建設地選定過程で4つの候補地があったとのことだが、情報公開すべきでは。
- ・ 軟弱地盤の問題点は専門家の知見を借りてしっかりと審議すべきではなかったか。周辺の道路整備もしっかりと予算化すべきだ。＜市要望＞
- ・ 病院建設の予算を超えた場合の対処は、建設を認めるべきでない。

➡（議会側回答）

- ・ 病院建設の過程で予算を伴う議案が審議されてきており、結果として現地建て替えを進める予算案が議会を通過し、事業推進している。
- ・ 4つの候補地よりの選定過程は本日資料を持ち合わせていないが、情報公開がされているはずである。

(3) 市等への要望事項

- ・ 蓬萊橋周辺の駐車場整備をすべきである。＜市要望＞
- ・ 本通りのシャッター通りの復興に市の職員を巻き込めないか。＜市要望＞
- ・ 市内の土砂災害警戒区域を今後どうするか、再度考えるべき。＜市要望＞
- ・ 本通り周辺を街路整備して外部からの見学者を呼び込むべき。＜市要望＞

6 まとめ（所見）

- ・ 参加者の中には新病院建設事業などに対する問題意識を持って報告会に臨んでいる人からの発言や、日頃の生活や市民会議などへの参画を通じての疑問を感じ、シティプロモーション事業に対する議会の考えを求める質問が複数あった。
- ・ 議会改革について議長副議長選挙の試行は一定の評価をしつつも、初回を非公開としていることに多くの方が疑問や疑念を抱いたようで、市民に開かれた議会を目指しているにもかかわらず、一部の市民からは議会の隠蔽体質と映っている。所信表明の内容の公開については、議会としての対応を早急に協議する必要性を感じた。
- ・ 新病院建設は、これまでも段階を踏んで慎重な検討を進めているにもかかわらず、市民から見た場合、いまだに基本構想段階の議論が後を絶たない。議会としても検討経過や借地での公共的土地利用など技術的・法的な対応について、しっかりとした意見交換ができるための準備がさらに必要である。